

ピタッとくっつく。
ワイドに拡がり。



ムラなく拡がり、しかも落ちづらい。
だから、少量散布でも農薬本来の安定した効果を引き出します。

機能性展着剤

ワイドコート®

特性の異なる

界面活性剤W配合!



ワイドコートは2種類の界面活性剤「拡がるタイプ」と「くっつくタイプ」を、絶妙な比率で配合。だから、ワイドに拡がり、ピタッとくっつきます。

■てんさいの適用範囲と使用方法

適用農薬名	散布液10ℓ当りの使用量	使用方法
メタミロン水和剤、フェンメディファム乳剤、フェンメディファム水和剤 レナシル・PAC水和剤、フェンメディファム・メタミロン水和剤	3.3ml (3000倍)	添加
殺虫剤、殺菌剤	1~3.3ml (3000~10000倍)	

てんさい以外に、野菜類、いも類、豆類(種実)、稲、麦類、雑穀類、茶、花き類・観葉植物等に登録があります。

®は日本化薬株式会社の登録商標

てんさいの**除草剤、殺虫剤、殺菌剤**に使えます。



ワイドに拡がり、



ピタッとくっつく！

■ 蛍光顔料のキャベツへの付着性比較

付着率
87.1
%付着率
15.5
%

下のキャベツをブラックライトで撮影すると…

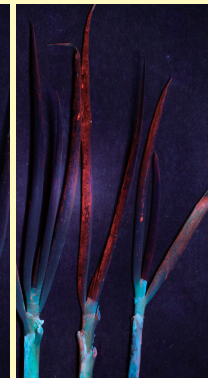
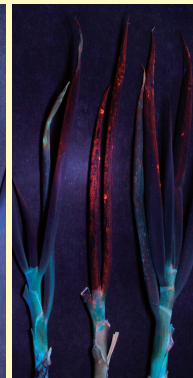


ワイドコート 3000倍

展着剤A 3000倍

(日本化薬株式会社 社内試験)

■ 蛍光顔料のネギへの付着性比較



ワイドコート 3000倍

展着剤B 1000倍

展着剤C 1000倍

(日本化薬株式会社 社内試験)

【試験概要】 蛍光顔料を入れた希釈液を作物に散布。それを撮影し、画像処理ソフトで明部の面積率を計算。作物表面上の均一性を数値化した。

農薬本来の力を引き出す。

さらに少量散布でも安定した薬剤の効果!

薬剤による汚れを軽減!

ワイドコートを安全に使用していただくために

■ **ご使用をお薦めする作物** (日産化学生物科学研究所 および 日本化薬株式会社アグロ研究所)
ねぎ、たまねぎ、にら、にんにく、てんさい、麦類、稲

■ **薬害症状が確認された作物** (日産化学生物科学研究所 および 日本化薬株式会社アグロ研究所)
日産化学の現地圃場試験で一部の作物に薬害症状が確認されたため、日産化学生物科学研究所、日本化薬(株)アグロ研究所にて各種作物で再現試験を行い、症状を確認しました。

*:低温で薬液が乾きにくい条件で発生する傾向あり

作物		薬害症状等	対応
アブラナ科野菜	ブロッコリー カリフラワー 非結球あぶらな科葉菜類	ブロッコリー(花蕾莖部) カリフラワー(葉) チンゲンサイ(葉) コマツナ(葉)	水浸状の薬斑* 使用を避けてください
花き類・観葉植物	バラ	莖あるいは葉にしみ状の薬斑	
ナス科果菜	トマト、ミニトマト	銅剤との混用で、薬液の溜まりに銅由来の黒色斑点	低温で薬剤が乾きにくい条件、 低倍数、多散布水量で発生する傾向がありますのでご注意ください。
	ナス	果実に斑点の汚れ	
	ピーマン	果実にコルク斑	
ウリ科	きゅうり	幼果下部にさび果	
マメ科	えんどう	ガクにリング状斑	

△ 効果・薬害などの注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し使い切ってください。
- 本剤を直接散布液に加え、十分かき混ぜてから散布してください。
- 使用に当っては、使用農薬の使用条件や使用上の注意事項を厳守してください。
- 適用農薬の使用上の注意事項に薬害の生じやすい作物、気象条件などが記載されている場合には本剤の使用を避けてください。
- 作物の幼苗期、高温時など一般に薬害の生じやすい条件では、本剤の使用を避けてください。
- ブロッコリー、カリフラワー及び、非結球あぶらな科葉菜類にはコルク斑などの薬害を生じることがあるので、使用しないでください。
- なす科果菜類の果実には散布液の乾きにくい条件(冬季、散布水量が多い場合など)ではコルク斑などの薬害を生じることがあるので、本剤の添加量または散布水量を減らすなどして、注意して使用してください。
- 果樹類では落花4週間後程度までの使用は薬害を生じるおそれがあるので避けてください。
- 果樹類に使用する場合、果粉溶脱のおそれがあるので、使用前に十分確認してください。
- 本剤を初めて使用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してください。

- 塗装汚損のおそれがあるので、自動車などに散布液がかからぬよう注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするのと同時に衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触を避けてください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2018年9月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号

ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>

お客様窓口 TEL.03-4463-8271(9:00~17:30 土日祝日除く)

WAC-FHB3A北